



(様式 2)

令和 2 年 2 月 18 日

始良市議会議長 様

会 派 名 市政クラブ始輝

代表者氏名 湯之原 一郎

調 査 研 究 報 告 書

下記のとおり実施しましたので報告します。

記

- 1 日程
令和 2 年 1 月 28 日 (火) ～ 1 月 30 日 (木)
- 2 場所
 - ① 衆議院・参議院議員会館
 - ② 福生市防災食育センター
 - ③ アリーナ立川立飛
 - ④ JSC (株)
 - ⑤ 日本財団パラアリーナ
 - ⑥ 東京臨海広域防災公園 (そなエリア東京)
- 3 目的
 - ① 本市に係る諸課題について (給食センター、中部横断道路等) 調査研究及び陳情
 - ② 防災食育センターについて調査研究
 - ③ 複合新庁舎建設に係る複合機能施設等について調査研究
 - ④ 防災減災について調査研究
- 4 該当する政務活動費の用途項目
交通費、宿泊費
- 5 支出経費の内訳と金額
別紙①
- 6 参加議員名
湯之原 一郎 和田 里志 湯元 秀誠 東馬場 弘
鈴木 俊二 岩下 陽太郎 犬伏 浩幸
- 7 活動成果の概要、所見
別紙②
- 8 成果物、資料等
福生市防災食育センター資料等

令和2年1月28日(火)～1月30日(木)

*宿泊先新宿ワシントンホテル本館新宿区西新宿3-2-9/03-3343-3111

3日目

1月30日(木)	活動先	東京都品川区 日本財団パラアリーナ 東京都江東区 東京臨海広域防災公園 (そなエリア東京) ※ 複合新庁舎建設に係る複合機能施設等について ※ 防災減災について
ホテル ⇒ 徒歩	9:03 ⇒ 新宿駅 ⇒ 山手線IC198円	9:22 ⇒ 新橋駅 ⇒ ゆりかもめIC388円
	12:06 ⇒ 徒歩	12:17 ⇒ 市場前駅 ⇒ ゆりかもめIC388円
	⇒ 国際展示場駅 ⇒ 徒歩	12:43 ⇒ 市場前駅 ⇒ ゆりかもめIC189円
	⇒ 徒歩	12:46 ⇒ 有明駅 ⇒ 徒歩
		⇒ 東京臨海広域防災公園 (そなエリア東京) [研修13:30~15:00]
	15:32 ⇒ 徒歩	15:38 ⇒ 天王洲アイル駅 ⇒ 徒歩
	⇒ 徒歩	16:05 ⇒ 羽田空港 ⇒ SNA79便
		20:15着 鹿兒島空港

※研修先所在地

研修先	住所	電話番号
衆議院第一議員会館	東京都千代田区永田町2-2-1	03-3581-5111
参議院議員会館	東京都千代田区永田町2-1-1	03-3581-3111
福生市防災食育センター	東京都福生市熊川1606-1	042-551-1344
アリーナ立川立飛	東京都立川市市泉町500-4	042-512-8177
JSC (株)	東京都渋谷区道玄坂1-10-1 庄渋谷プレイス 10階	03-5456-1348
日本財団パラアリーナ	東京都品川区東八潮3-1	03-5500-0825
東京臨海広域防災公園 (そなエリア東京)	東京都江東区有明3-8-35	03-3529-2180

市政クラブ始輝

令和元年度 政務活動 本市に係る諸課題について（給食センター・中部横断道路等）調査研究および陳情及び
防災給食センター、複合庁舎建設に係る複合機能施設、防災減災についての調査研究

令和2年2月10日（月）

目的	本市に係る諸課題について（給食センター・中部横断道路等）調査研究および陳情及び 防災給食センター、複合庁舎建設に係る複合機能施設、防災減災についての調査研究
出張場所	衆議員・参議院会館、福生市防災給食センター、アリーナ立川立飛、 JSC（株）、日本財団バラアリーナ、東京臨海広域防災公園
開始日	令和2年1月28日 8時出発
終了日	令和2年1月30日 20時00分帰着
作成者	会計 鈴木俊二

日付	項目	単価	人数	料金	備考
2020.28-30	ホテルバック代	¥51,300	7	① ¥359,100	1/28-30 鹿児島空港⇄羽田空港往復および2泊分料金
2020.1.27	お土産代	¥1,134	7	② ¥7,938	各議員5名・福生市・株JSC 計7か所分
2020.1.28	空港バス	¥1,250	7	③ ¥8,750	1/28 羽田空港→新宿ワシントンホテル
2020.1.28	地下鉄 丸の内線	¥170	7	④ ① ¥1,190	1/28 新宿→国会議事堂前
2020.1.29	JR線	¥473	7	④ ② ¥3,311	1/29 新宿→拝島
2020.1.29	タクシー代	¥920	1	⑤ ¥920	給食センター～拝島駅 徒歩で15分行きは歩いたが帰りは時間の都合上タクシーで移動
2020.1.29	タクシー代	¥830	1	⑥ ¥830	給食センター～拝島駅 徒歩で15分行きは歩いたが帰りは時間の都合上タクシーで移動
2020.1.29	西武線	¥178	7	④ ③ ¥1,246	1/29 拝島→玉川上水
2020.1.29	多摩モノレール	¥214	7	④ ④ ¥1,498	1/29 玉川上水→立飛
2020.1.29	多摩モノレール	¥214	7	④ ⑤ ¥1,498	1/29 立飛→立川北
2020.1.29	JR線	¥473	7	④ ⑥ ¥3,311	1/29 立川→千駄ヶ谷
2020.1.29	JR線	¥157	7	④ ⑦ ¥1,099	1/29 千駄ヶ谷→渋谷
2020.1.29	丸の内線	¥157	7	④ ⑧ ¥1,099	1/29 渋谷→新宿
2020.1.30	JR線	¥198	7	④ ⑨ ¥1,386	1/30 新宿→新橋
2020.1.30	ゆりかもめ線	¥388	7	④ ⑩ ¥2,716	1/30 新橋→東京国際クルーズターミナル
2020.1.30	ゆりかもめ線	¥325	7	④ ⑪ ¥2,275	1/30 東京国際クルーズターミナル→市場前
2020.1.30	ゆりかもめ線	¥189	7	④ ⑫ ¥1,323	1/30 市場前→有明
2020.1.30	地下鉄 りんかい線	¥272	7	④ ⑬ ¥1,904	1/30 国際展示場→天王洲アイル
2020.1.30	東京モノレール	¥492	7	④ ⑭ ¥3,444	1/30 天王洲アイル→羽田空港
合計				¥404,838	

御 請 求 書

市政クラブ始輝 様

観光庁長官登録旅行業第1118号
 南国交通株式会社トラベル研究所
 国分営業所
 〒 899-4332
 霧島市国分中央3丁目26-9
 電 話: 0995-46-8200
 FAX : 0995-45-8083

この度は、南国交通トラベルをご利用いただき有難うございます。
 つきましては、下記のとおりご請求申し上げます。

品名	単価	数量	金額	備 考
東京宿泊パック代	51,300	7	359,100	1泊朝食付
1/28 鹿児島08:05→09:40羽田				
1/30 羽田 18:10→20:15鹿児島				
1/28 新宿ワシントンホテル<本館>				喫煙可シングル1室
1/29 新宿ワシントンホテル<本館>				禁煙可 // 6室
			359,100 円	

お支払いは弊社下記口座へお振込みください。又はお支払い下さい。
 尚、振込手数料はお客様負担でお願い致します。
 【振込先銀行】 鹿児島銀行 国分支店 普通 129159 南国交通株式会社

市政クラブ始輝 様

御旅程表

行き先 : 東京方面		参加人員⇒ 7 名	
日 時	スケジュール		
1 1 / 28 (火)	(ANA620便) 鹿児島空港 ⇨⇨⇨⇨⇨⇨⇨ 羽田空港 (2) ⇨⇨⇨⇨⇨⇨⇨ (リムジンバス) 新宿ワシントンホテル 8:05 発 9:40 着 10:20 発 11:15 着 新宿近辺 屋 食 新宿駅⇨⇨⇨⇨⇨国会議事堂前 (参議院議員会館) ⇨⇨⇨⇨⇨ 新宿 約 30 分 (280 円~330 円)		
2 1 / 29 (水)	中央線 (約 1 時間) 徒歩 (約 12 分 900m) (約 5km、タクシー) 新宿駅 ⇨⇨⇨⇨⇨ 拝島駅⇨⇨⇨⇨⇨ 防災食育センター⇨⇨⇨⇨⇨ 福生市役所 JR 青梅線 (立川南乗換) 多摩モノレール 福生駅⇨⇨⇨⇨⇨ (約 30 分) ⇨⇨⇨⇨⇨ 立飛⇨⇨⇨⇨⇨ (乗換 2 回、約 1 時間、約 1600 円) ⇨⇨⇨⇨⇨ 渋谷⇨⇨⇨⇨⇨ 新宿		
3 1 / 30 (木)	都営大江戸線・ゆりかもめ (約 50 分、乗換 1 回) 新宿駅 ⇨⇨⇨⇨⇨ 有明駅⇨⇨⇨⇨⇨ 東京国際クルーズターミナル ⇨⇨⇨⇨⇨ 京臨海広域防災公園 東京新国立競技場 (外観見学) (在来線) ⇨⇨⇨⇨⇨ (乗換) ⇨⇨⇨⇨⇨ 羽田空港 (SNA79便) 羽田空港 (2) ⇨⇨⇨⇨⇨ 鹿児島空港 18:10 発 20:15 着		
研修・訪問先		国会参議院議員会館 宇都隆史事務所 13:00~ 尾辻秀久事務所 国会衆議院議員会館 森山 裕事務所 小里康弘事務所 10:00~防災食育センター 10:30~福生市役所 13:30~アリーナ立川立飛 17:00~渋谷 JSC (株) 日本財団パラアリーナ そなエアリアル東京)	

①-2

振込／振替

2020/01/06 16:21:43 現在

振込－完了

振込先指定

出金口座選択・金額入力

確認

完了

ご利用いただき、ありがとうございました。

以下の内容にて、受け付けいたしました。

予約振込のお客様は、振込指定日の前日(当座預金の場合は、前営業日)までに資金の準備をお願いします。

受付番号	0016966789
申請日時	2020年1月6日 16時21分43秒 (申請者:@kanri 法人管理者)
一次承認日時	2020年1月6日 16時21分43秒 (一次承認者:@kanri 法人管理者)
最終承認日時	2020年1月6日 16時21分43秒 (最終承認者:@kanri 法人管理者)
ステータス	完了
出金口座	加治木支店 普通預金 3065550
依頼人名	シセイクラブアイキ
依頼人番号	
振込先口座	鹿児島銀行 国分支店 普通預金 0129159
受取人名	ナンゴクコウツウ(カ)
振込金額	359,100円
振込手数料	330円
手数料負担先	依頼人負担
合計出金金額	359,430円
振込指定日	2020年1月6日(月)
連絡先電話番号	0995-62-2583
メモ	1/28-30旅費

DIB0110115

Copyright © 2014 The KAGOSHIMA BANK, LTD.

領 収 証

No. ②

始輝 様

2020年 1 月 25 日

★ ¥ 7,938 -

但 お菓子代

上記正に領収いたしました

内 訳

税抜金額 7,950
消費税額等(8%) 588

鹿児島県始良市加治木町日
有限会社 本家文 田堂
TEL0995-63

コクヨ ウケ-78N

※全商品が軽減税率対象です。

領 収 書 ⑤

2020 年 01 月 29 日 -004

メーター運賃 ¥920 円

合計 ¥920円

《お支払内訳》

現金支払 ¥920 円

毎度ご乗車ありがとうございます。

上記金額正に領収致しました。

車両番号 008001

タクシーの御用命は

拝島交通株式会社

昭島市緑町 4-15-17

☎ 042-541-0006

領 収 書 ⑥

2020 年 01 月 29 日 -015

メーター運賃 ¥830 円

合計 ¥830円

《お支払内訳》

現金支払 ¥830 円

毎度ご乗車ありがとうございます。

上記金額正に領収致しました。

車両番号 008017

タクシーの御用命は

拝島交通株式会社

昭島市緑町 4-15-17

☎ 042-541-0006

③-1

領収書 Receipt

様

★この領収書ではご乗車できません

★Cannot board with this receipt

★凭此一收据不可乘车

★이것은 승차권이 아닙니다

羽田空港 2ターミナル
Haneda Airport 2 Terminal

→ 新宿ワシントンホテル
Shinjuku Washington Hotel

2020年1月28日
10:20 発

支払金額：現金 ￥1250

人数：大人1人

片道乗車券
ご利用ありがとうございます。
領収書は大切に保管してください。

東京空港交通株式会社

2020/1/28 10:02 54097 HND T2 663自 発行

領収書 Receipt

様

★この領収書ではご乗車できません

★Cannot board with this receipt

★凭此一收据不可乘车

★이것은 승차권이 아닙니다

羽田空港 2ターミナル
Haneda Airport 2 Terminal

→ 新宿ワシントンホテル
Shinjuku Washington Hotel

2020年1月28日
10:20 発

支払金額：IC ￥1250

人数：大人1人

片道乗車券
ご利用ありがとうございます。
領収書は大切に保管してください。

東京空港交通株式会社

2020/1/28 10:01 30175 HND T2 662自 発行

領収書 Receipt

様

★この領収書ではご乗車できません

★Cannot board with this receipt

★凭此一收据不可乘车

★이것은 승차권이 아닙니다

羽田空港 2ターミナル
Haneda Airport 2 Terminal

→ 新宿ワシントンホテル
Shinjuku Washington Hotel

2020年1月28日
10:20 発

支払金額：現金 ￥1250

人数：大人1人

片道乗車券
ご利用ありがとうございます。
領収書は大切に保管してください。

東京空港交通株式会社

2020/1/28 10:01 59567 HND T2 666自 発行

領収書 Receipt

様

★この領収書ではご乗車できません

★Cannot board with this receipt

★凭此一收据不可乘车

★이것은 승차권이 아닙니다

羽田空港 2ターミナル
Haneda Airport 2 Terminal

→ 新宿ワシントンホテル
Shinjuku Washington Hotel

2020年1月28日
10:20 発

支払金額：IC ￥1250

人数：大人1人

片道乗車券
ご利用ありがとうございます。
領収書は大切に保管してください。

東京空港交通株式会社

2020/1/28 10:01 20432 HND T2 661自 発行

領収書 Receipt

様

★この領収書ではご乗車できません

★Cannot board with this receipt

★凭此一收据不可乘车

★이것은 승차권이 아닙니다

羽田空港 2ターミナル
Haneda Airport 2 Terminal

→ 新宿ワシントンホテル
Shinjuku Washington Hotel

2020年1月28日
10:20 発

支払金額：IC ￥1250

人数：大人1人

片道乗車券
ご利用ありがとうございます。
領収書は大切に保管してください。

東京空港交通株式会社

2020/1/28 10:02 63506 HND T2 664自 発行

③-2

領収書 Receipt
收据 영수증

様

★この領収書ではご乗車できません

★Cannot board with this receipt

★凭此一收据不可乘车

★이것은 승차권이 아닙니다

羽田空港 2ターミナル
Haneda Airport Terminal

→ 新宿ワシントンホテル
Shinjuku Washington Hotel

2020年1月28日
10:20 発

支払金額：1 C

¥1250

人数：大人1人

片道乗車券
ご利用ありがとうございます。
領収書は大切に保管してください。

東京空港交通株式会社

2020/1/28 10:02 86803 HND T2 665自発行

領収書 Receipt
收据 영수증

様

★この領収書ではご乗車できません

★Cannot board with this receipt

★凭此一收据不可乘车

★이것은 승차권이 아닙니다

羽田空港 2ターミナル
Haneda Airport Terminal

→ 新宿ワシントンホテル
Shinjuku Washington Hotel

2020年1月28日
10:20 発

支払金額：1 C

¥1250

人数：大人1人

片道乗車券
ご利用ありがとうございます。
領収書は大切に保管してください。

東京空港交通株式会社

2020/1/28 10:01 63492 HND T2 664自発行

4

モバイル Suica 残額ご利用明細

JE*** **** 8937

月	日	種別	利用駅	種別	利用駅	差額
01	28	入	新宿	出	国会議事	-170 /
01	29	入	新宿	出	拝島	-473 2
01	29	入	西部拝島	出	玉川上水	-178 3
01	29	入	多摩玉川	出	立飛	-214 4
01	29	入	立飛	出	立川北	-214 5
01	29	入	立川	出	千駄ヶ谷	-473 6
01	29	入	千駄ヶ谷	出	渋谷	-157 7
01	29	入	渋谷	出	新宿	-157 8
01	30	入	新宿	出	新橋	-198 9
01	30	入	ゆり新橋	出	国際クルーズ	-388 10
01	30	入	国際クルーズ	出	市場前	-325 11
01	30	入	市場前	出	有明	-189 12
01	30	入	りんかい国展	出	臨天王洲	-272 13
01	30	入	アイル	出	東モ羽2	-492 14

2020/2/1

ご利用ありがとうございます。

システムの都合上、最新のご利用明細が反映されていない場合があります。

(1/2)

東日本旅客鉄道株式会社

活動成果の概要と所見

活動内容：県選出国會議員訪問

活動日時：令和2年1月28日（火）午後1時30分～午後6時

活動場所：衆議院第1議員会館及び参議院議員会館

活動の概要

県選出の5人の議員会館事務所を訪問し、別紙要望書を手交し、懇談しながら様々なアドバイスをいただいた。

訪問した国会議員

森山 裕 衆議院議員 13時30分～

宮路 拓馬 衆議院議員 14時30分～

小里 泰弘 衆議院議員 15時～

尾辻 秀久 参議院議員 15時30分～

宇都 隆史 参議院議員 16時30分～

防衛省 地方協力局 周辺整備課担当職員から「防災食育センター」のレクチャー受講 17時30分～

所 見

1、防災食育センターの整備

加治木給食センターと自校式調理場の現状と建て替えの必要性について説明し、防災食育センターの設置整備の要望を伝えた。建て替えの必要性については理解が得られたと思うが、防災食育センターについては、設置基準が厳格に定められており、現状では難しいことが分かった。しかしながら、昨今頻発している大災害に対応するためには、必要かつ重要な施設であることから、何らかの形で実現できないか検討が必要であるとの考えを示される議員が多かった。

2、仮称「中部横断道路」の建設促進

慢性化している国道10号の渋滞状況と、県道42号川内加治木線の帖佐小学校周辺の渋滞状況や通学路の危険性、岩原交差点の渋滞状況等について説明し、始良市の道路交通網整備上、重要性の高い路線整備であることを理解していただいた。一つの方策として、森山議員より、「現在進行中の地域高規格道

路の整備に目途が付いてきている。次期計画の策定される段階で、計画に盛り込んでもらえるように、執行部、周辺市と協議して県に要望を出すことが、早道ではないか。」とのご示唆をいただいた。今後「中部横断道路建設期成会」を官民一体となって、早い時期に立ち上げる必要があるのではないかと考える。



森山代議士事務所にて



小里代議士事務所にて



宮路代議士事務所にて



尾辻参議院議員事務所にて



宇都参議院議員事務所にて

政務活動費における活動報告書

報告者 和田里志
日時 令和2年1月28日(火) 午後1時30分～午後6時
訪問先 衆議院第1議員会館及び参議院議員会館
衆議院議員 森山 裕 事務所 宮路 拓馬 事務所
小里 康弘 事務所
参議院議員 尾辻 秀久 事務所 宇都 隆史 事務所
内容 関係国会議員への陳情及び情報収集
特定防衛施設関連補助金について防衛省のレクチャー

【陳情内容】

これまで要望している事項

1. 鳥獣被害対策
2. 公立大学法人の設立
3. 国道10号の4車線化に伴う白浜地区緊急待機場整備
4. 帖佐駅及び駅前開発
5. 用排水路対策
6. 大型グラウンドゴルフ場の建設
7. 始良市の情報発信・紹介

新たに追加した要望事項

1. 防災食育センターの整備

本市の学校給食施設のうち、加治木学校給食センターと自公方式調理場においては、築30年以上が経過しているため、施設・設備ともに「学校給食衛生管理基準」の規定に基づいた早急な改善が必要である。今回、会派として首長の理解も得ながら、防衛施設に対する住民の理解を深めてもらい、防衛施設とその周辺地域の調和を図るものとして、また防災の日常化に向けた事前防災の具体策として、防衛省「特定防衛施設周辺整備統制交付金」(まちづくり支援事業、民生安定助成事業)の導入を視野に入れた国の補助事業等に該当する事業について、情報提供を含め、特段の御配慮をお願いしたい。

2. 仮称「中部横断道路」の建設促進

仮称「中部横断道路」の建設促進については、昨年あらためて首長からも建設に対する国の補助事業に該当する事業について、情報提供を含め、特段の配慮方の要望が出されていると思うが、併せて会派としてもお願いするものである。

【防衛省によるレクチャー】

「特定防衛施設周辺整備統制交付金」(まちづくり支援事業、民生安定助成事業)の導入について

上記内容について関係国会議員と連絡を取り、それぞれの事務所において陳情活動及び情報収集を行った。

各事務所とも、それぞれの陳情内容については理解を示され、実現に向けた有利な助成事業や補助事業がないか調査し、情報提供するとのことであった。

早急に具体的な整備構想や計画を立て、内容を示して欲しいとのことだった。

また、各事務所より新たに示された内容や情報、意見は以下の通りであった。

衆議院議員 森山 裕 事務所 (28 日午後 1 時 30 分～)

仮称「中部横断道路」の建設促進について

この道路計画は、市単独での実現はかなり難しい。県がこれから計画する各地域の高規格道路として位置づけてもらい活動する方が望ましいのでは。県議団とも連絡を図りながら、地元も期成同盟等を結成するなどして活動する方がよい。

防災食育センターの整備について

防衛省関係者とどのような取り組みが可能か調査してみる。

用排水路対策について

早急に具体的な計画を立てた方がよい。

衆議院議員 宮路 拓馬 事務所 (28 日午後 2 時 30 分～)

それぞれの要望事項は、具体的な計画・構想図（簡易なもので可）があれば分かりやすく関係省庁への働き掛けもやりやすい。

衆議院議員 小里 康弘 事務所 (28 日午後 3 時分～)

公立大学法人の設立に関連して

いちき串木野市の学校法人上村学園の情報を市長に提供している。

参議院議員 尾辻 秀久 事務所 (28 日午後 4 時 15 分～)

要望事項はそれぞれの議員で、その分野別に役割分担をした方がよい。防衛施設関連については早急に調査してみる。

参議院議員 宇都 隆史 事務所 (28 日午後 4 時 45 分～)

防災食育センターの整備について

特に今回の陳情に新たに追加した項目で、出身母体である防衛省のレクチャーも行ってもらうことができた。特定防衛施設周辺整備統制交付金に関する助成事業のハードルはかなり高いが、事前防災の具体策として様々な角度から検討してみる。

【防衛省によるレクチャー】 (28 日午後 5 時 30 分～) 衆議院第 1 議員会館会議室

「特定防衛施設周辺整備統制交付金」（まちづくり支援事業、民生安定助成事業）の導入については、まず特定防衛施設周辺市町村としての認定が必要である。

防衛関連の基地や施設の無い市町村にとっては、かなりハードルの高い事業導入と思われるが、関連法律の運用等につて研究する必要がある。

《 所見と考察 》

衆参議員会館（地元選出国會議員事務所）訪問について

それぞれの地元選出国會議員事務所を訪問し、直接陳情や情報収集ができたことは、非常に有意義であったと思う。特にそれぞれの得意分野である個別事業について、その事業の進め方など、専門的な観点及びその経験則から得られた教示は、早速取り入れていきたい。

また、これからも逐次国会議員事務所とも連絡を取り合いながら、国・県の支出金や有利な交付税措置のある地方債などの活用が図れるよう情報を共有していきたい。

会派の政務活動の一環として、国会議員事務所を訪問したのは今回で2回目である。始良市議会（会派）としてこのような活動はこれまでなかったが、他の市議会や議員の活動状況を聞くと、これからもテーマを決めての情報収集や、執行部と一体となった陳情活動は必要であると考えている。

福生市防災食育センター視察研修報告書

報告者 大伏 浩幸

- | | |
|--------|--|
| 1 調査事項 | 福生市防災食育センターについて |
| 2 調査目的 | <p>始良市の学校給食施設（自校方式調理場、加治木学校給食センター）は、老朽化（築30年以上）のため、「学校給食衛生管理基準」に適応していない。本市の宝である子ども達の健全育成のためにも、新たな学校給食施設の整備が喫緊の課題である。</p> <p>一方で、厳しい財政状況の中で、給食センター設置については、財源の確保が最大の課題であると認識している。</p> <p>また、近年想定を超える災害が全国各地で発生しており、本市においてもさらなる災害対応が求められる。現在、本市の給食センターは、災害時の防災施設としての機能（炊き出し・避難所等）を有していない。</p> <p>そこで、福生市防災食育センターにおいて、主に財源の確保、地域防災の観点から調査を行うこととした。</p> |
| 3 調査先 | 福生市防災食育センター |
| 4 調査日 | 令和2年1月29日（水） |
| 5 調査内容 | <p>（1）防災食育センター概要</p> <p>防災食育センターとは、避難所・災害備蓄庫・応急給食施設等の総合的な防災機能を備え、平常時には応急給食施設を活用して学校給食を提供する災害時対応施設である。</p> <p>【施設概要】</p> <p>敷地面積：9,807.58 m²</p> <p>建築面積：3,847.82 m²</p> <p>延べ面積：4,844.84 m²</p> <p>規模構造：鉄骨造・RC造 地上2階 耐火建築物</p> <p>調理能力：4,000食（最大4,500食）</p> <p>配送先：小学校7校、中学校3校</p> <p>（2）主な施設機能</p> <p>【防災施設】</p> <p>①避難所機能</p> <ul style="list-style-type: none">・避難所として約310名を受け入れ可能・防災広場に救護用テントや簡易トイレを設置・帰宅困難者の一時滞在場所 |

②拠点機能

- ・ 支援物資や応援部隊を受け入れる

③備蓄機能

- ・ 避難所開設用の毛布等防災用備品を備蓄

④応急給食機能

- ・ 高級給食用の米 4,500kg と汁物用の乾燥具材 45,000 食分を備蓄

【食育施設】

⑤学校給食機能

- ・ 毎日 4,000 食の給食を調理し、市内の小学校 7 校、中学校 3 校へ配送。
- ・ 最大 1,000 食の食物アレルギー対応給食にも対応。

⑥食育学習機能

- ・ 食育展示ホール：展示パネルや調理場見学を通して健全な食生活について学習したり、防災に対する備えの大切さを学べるスペース。
- ・ 研修室：食育に関する学習会などが行える研修スペース。

(3) 主な施設の特徴

【防災施設】

防災食育センターは、最も高い耐震安全性を目標としている。災害発生後の機能を確保するため、構造体の分類は「Ⅰ類」、建築非構造部材は「A類」、建築設備は「甲類」を採用。

①校給食機能（炊き出しの想定）

災害発生時後 4 日目以降最低 3 日間、市内の避難生活者約 1 万 5 千人に対し、一人 1 日 1 回おにぎり 2 個と温かい汁物を提供。災害時の調理機として、都市ガス・プロパンガス両対応の炊飯システムや屋外で使えるコンロカート等を配備。おにぎりの成型は、自動成形機を導入。（1 時間に最大 1,800 個）

②応急給水施設（断水時の想定）

容量は、100 t タンクを設置。緊急遮断弁や自動塩素滅菌機も設置

③プロパンガス備蓄（都市ガスが利用できない場合の想定）

備蓄しているプロパンガスを都市ガスに近い性質のガスに変換して供給できる PA ジェネレーターを設置。

④非常用発電機（停電時の想定）

都市ガスで発電するマイクロコージェネレーションは、災害で都市ガス供給がストップした場合でも、プロパンガスから PA ジェネレーターで変換されたガスを使用することで発電可能。平常時もデマンドピークを抑えるため発電している。

【食育施設】

最新の衛生管理手法（・交差汚染防止対策・衛生管理に配慮した建築計画・

衛生管理に配慮した設備計画)を取り入れた施設。

⑤食物アレルギー対応給食(調理棟)

通常給食棟から独立し、アレルゲン食材の混入を防止。学校と家庭の連携を密にし、7大アレルゲン対応の除去・代替食を提供。

⑥生野菜の提供が可能

0℃に近い冷水供給+殺菌効果の高い微酸性電解水生成装置を導入。冷水で菌の増殖を抑え、微酸性殺菌水による高い殺菌力で殺菌する。異物除去洗浄機は、強力な水流と微小気泡で、虫や毛髪にも抜群の異物除去効果を発揮する。

⑦交差汚染を防止

加熱前・加熱後の食材動線が明確になり、交差汚染を防止。コンビオーブン、煮炊釜、連続フライヤーなど、ほぼ全ての機器がパススルー仕様。

6 調査結果

福生市防災食育センターは、平常時には、市内小中学校に学校給食を提供する一方、災害時には帰宅困難者などの一時滞在者や避難生活者を受け入れる避難所として機能する。

福生市においても、本市同様、給食センターの老朽化に伴い建て替えが喫緊の課題となっていた。

東日本大震災を契機とした市民の防災意識の高まりや、防衛補助のメニューとして防災食育センターの建設であれば、防災に関する施設として、「防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律」の補助を受ける事ができるため、防災食育センターの整備に取り組んだ。その後、平成29年9月に本格稼働を開始している。

福生市防災食育センター整備にあたり、本市でも最大の課題である財源の確保については、特定防衛省周辺整備調整交付金8条(まちづくり支援事業)、9条等を活用していた。

「まちづくり支援事業」を受ける主な条件は、「原則、特定防衛施設関連市町村に指定された地方公共団体に限る。」であり、現在、本市においてこの条件を満たすことは困難な状況であることが認識できた。

財源の確保については、今後、防災関連事業(国交省等)や過疎対策債など様々な角度から調査研究していく必要があると考える。

防災機能については、いつ発生するか分からない災害に対応する多様な機能があり、防災拠点の1つとして地域の防災力向上に大きく貢献している施設であった。

本市においても、現在の給食施設を活用し、災害等に対応できる事業(炊き出し、食材備蓄等)を推進していくべきである。

新たな学校給食施設整備を検討する際は、防災機能を併せ持った施設について、財源の確保・地域の防災力向上・学校給食機能充実など多面的な視点

で整備に向けた取り組みを行うことが重要であるとする。

今後、子ども達の健全育成や、地域の防災力強化、財源の確保について、さらに調査研究に取り組んでまいりたい。

期日：令和2年1月28日（火）～ 1月30日（木）

場所：東京都立川市 アリーナ立川立飛

■ 「LCアリーナ」調査の動機・理由

始良市の将来像として「安心して過ごせる始良市。災害に強い始良市」を目指しており、防災拠点としての機能を有する庁舎整備が、始良市本庁舎、加治木総合所、蒲生総合支所の3つの複合新庁舎建設計画に沿って進められている。

始良市では、社会保障関係費の増加や、小中学校の給食センターの建設などの公共施設の老朽化対策、インフラ整備など多額の財政負担を伴う事業が山積している現状もある。

それらを念頭に置き、複合新庁舎建設の加治木総合支所・蒲生総合支所の行政窓口を含む拠点に市民の求めるものが何かを見極め、どのような機能を兼ね備えた施設に計画するかである。

その形態によつての財源確保は、庁舎建設基金の運用はじめ、合併推進債を主に、国の補助金、助成金の活用など模索する必要がある。

複合新庁舎建設計画を推進する中で、安全性や耐久性、構造的観点は最も重要なことである。さらに将来の市民の負担軽減を図りながら事業を推進していくことは当然として、建設計画にあたり建設単価の抑制は、真剣に検討を重ねる必要がある。

現在の加治木総合支所内の体育館は多くの利用者があり、稼働率は大変高い。

「市政クラブ・始輝」では、加治木地区での「議会と語る会」などで、体育館の存続・建て替えを望む声が多いことから、安価で機能性高い体育館を複合的に設置する可能性・実現性を課題に情報収集した。

その中で鹿児島県の企業誘致関連から今、建設業界で画期的なアリーナの設計を手掛けている企業があるという情報を得た。

その会社は構造設計を専門としたJSC株式会社である。

「LCアリーナ」・ローコストアリーナを手がけ、地域再生を掲げる自治体からも「革命的」と称賛されている。

早い、安いで注目されるアリーナの施工技術を開発し、多くの特許取得の実績で、急成長著しいベンチャー企業である。JSC株式会社の社長の井口哲朗社長氏は、鹿児島県出身であることから市政クラブ・始輝では一昨年から情報収集を続け、今回現地に出向き調査をする動機にもなった。

■ 「アリーナ立川立飛^{たっぴ}」の調査について

場所 : 東京都立川市
期日 : 令和2年1月29日(水) 13:30～
事業者 : 株式会社・立飛ホールディングス

今回はLCアリーナのショールーム的存在の代表である「アリーナ立川立飛」と「日本財団パラアリーナ」を調査対象とした。

「アリーナ立川立飛」は立川市議会を通じて、視察研修を申し入れたが、民間企業運営のため、担当社員が多忙で対応できないと返答があり、外部からの視察だけでも良いのではと、会派で協議し出向いた。

さいわいに担当社員が出て来られ、「少しの時間とソフト面なら説明できます」と、わざわざ鹿児島から来たことに好意的な姿勢でアリーナの内部へ案内いただいた。

2017年に完成した「アリーナ立川立飛」は多摩モノレールの立川駅をはさみ立飛ホールディングス社の商業施設「ららぽーと立川立飛」に隣接して、民設民営アリーナとして、スポーツによる地域の賑わいを創出していた。

当初、JSC株式会社は、立飛ホールディングスから土地を借り受け、自社でアリーナ運営を計画していたが、3千人規模のアリーナに関する各種データを基に収支をシミュレーションした結果、立川立飛側で運営することになった(十分採算は取れる)。

■ アリーナ立川立飛の建築概要

2017年3月中旬着工～2017年9月竣工

工事費 : 20億円・・・立川立飛側への、他の工事会社からの見積額は倍額であった。
工期 : 6ヶ月(設計着手から15ヶ月)
敷地面積 : 8368.13 m²
用途 : 興行場(観覧場)
構造・規模 : 鉄骨造 地上2階建
種別 : 耐火建築物
建築面積 : 4219.38 m²
延べ床面積 : 5988.56 m²
建物高さ : 16.996m
収容人数 : 3,275人
利用実績 : アルバルク東京ホームアリーナ(Bリーグ)、フットサルプロリーグ(Fリーグ)、卓球プロリーグ(Tリーグ)、東レパン・パシフィック(テニス・メイン会場)

■ 早い、安いで注目されるアリーナの施工技術を開発

立川駅の電車からも身近に見れる隣接するところに「アリーナ立川立飛」はある。外見は、今までのスポーツ施設とは言い難い、シンプルで斬新な一見、上質な大型の格納庫に見えた。

従来の工法では建築デザインが決まった後に、構造設計を立てていく。つまり当初のデザインにコストをプラスしていく発想であるのに対して、LC アリーナは、安全性とコスト削減をテーマに、どうすれば実現可能かを考えていくという逆の発想であると、論評がある。

我々一般的視線で見ただけでも外見にこだわらず、安全性と機能性を中心にコストの軽減が優先された建物であることは、一目瞭然であった。

このような考え方は 2020 年の東京オリンピックの陸上競技場の異才な屋根構造のデザインの設計採用から一変、今建設中の設計に変更されたこととは、基本の考え方は同じである。

JSC では、今まであまり注目されなかった構造設計技術面を前面に出し、新たな価値を付け加え、機能的なデザインと、共にスポーツとエンターテインメントの両方に、対応できる機能設備を充実させていると評価されている。

イベント用の大型ビジョンは 2 億～3 億円ほどかかるところを自社開発で 3 千万の低価格が実現されている。また、イベント時の椅子は消防法で固定しなければならない。椅子の設置、収納を 30 人で 2 日かけていたものがワンタッチで設置できる特許開発を実現している。

■ まとめ

現在、始良市では複合新庁舎建設の本庁舎建設がいよいよ実施計画へと進み、今年度は機能の仮移転、解体工事が計画されている。

また加治木庁舎、蒲生庁舎の基本計画が本格的検討に入り実現性を帯びつつあります。

このような大型の事業を進める中で今後、全国的な人口減を現実的に捉え、安心して暮らせる始良市の将来に渡る市民負担を、いかに抑制して目標実現に結び付けるかを、今ここで熟慮すべきである。

当然のように公共建設単価の予算枠を設定して、それに合せて事業費をプラスして行く手法が、今の公共事業のあり方であり、現在の始良市の事業の進め方の現状も同じである。

東京オリンピック競技場の不思議な展開とともに東京都の豊洲新市場などはホテル並みの建設単価になっていると批評されている。

始良市は県内最後の平成合併の新市である。全国の市町村が合併から取り組んだ歩みをすべてまねる必要はない。むしろ合併やまちづくりが後発のまちである故に、多くの参考事例の分析を徹底して行い、複合新庁舎建設には、LC アリーナの基本理念を導入すべきであることを求めたい。

1. 調査目的 首都直下地震発生の確率がたかまる中、防災意識を都民や国民にどのように伝えているのかを調査するため
2. 踏査日時 令和2年1月30日
3. 調査先 東京臨海広域防災公園（そなエリア）
4. 調査方法 施設内視察及び体験学習プログラム参加
5. 調査概要 毎年のように起こる災害に対して減災を進めていかなければならない中、防災・減災の大切さを都民や国民にどのように伝え、行動してもらおうとしているのか視察及び体験学習を実際に体験し調査した。
6. 調査内容

2階建てのこの施設は、国土交通省が管轄しており、発災時は避難所ではなく国の緊急対策本部が置かれる事になっている施設である。2階には今までの地震災害時の情報や防災グッズなどが展示されており、かなりの情報量があった。中でも目をひいたのは、10の備えのパネルである。

 - 1、家具類の転倒・落下
ぼうしをしておこう
 - 2、けが防止対策をしておこう
 - 3、家屋や壁の強度を確認しておこう
 - 4、紹介の備えをしておこう
 - 5、火災発生の早期発見と防止対策をしておこう
 - 6、非常用品をそなえておこう
 - 7、みんなで話し合っておこう
 - 8、地域の危険性を把握しておこう
 - 9、防災意識を身に着けておこう
 - 10、防災行動を高めておこう

である。詳細を事細かく書いてあり、このような防災への告知は分かりやすくすぐ行動できるのではないかと感じた。

また、今までの災害からあの時役立った知恵の展示などもあり、「助けを求めるとき声を出すより物をたたいたほうがいい」「逃げるとき赤ちゃんを抱いている人はすぐに引き離された おんぶひも があればと思った」などなど。

実際に役に立った知恵だけに大変貴重なものである。



そして、次に注目すべきは、発災から救助が来るであろう 72 時間を簡易ではあるが化擬似的に体験出来ることである。

エレベーター内での発災、扉が開くと地震直後の街中が再現された所に通され、

タブレットを使って問題が出され、擬似的に震災を体験できるのである。問題も子供用と大人用があり子供でも問題なく体験



出来るようになっていた。

その後は首都直下地震発生の様子を CD で作った映像を見て、体験を終了する。

さすがに国の施設でありお金がかかった施設ではあるが、疑似的に体験することで、災害を正しく知ることができ、備える事ができる。そしていざ発災した場合、正しく対応出来ることを的確に伝えている施設であった。

7. 調査結果

施設に山梨ナンバーや川口ナンバーのバスが来ており、多くの小学生が楽しく学んでいる姿がとても印象的であった。

神戸市にも同様な「人と防災未来センター」がある。始良市も子供たちの防災意識の向上のために、修学旅行などに組込むことも必要ではないかと感じた。また、子供たちだけでなく、市民にもこのような施設の紹介や備える大切さをもっと伝え、災害を正しく知ること、そして今住んでいるところがどのような災害が予想されどのように備えて置くかを理解出来るよう努めることが大切ではないかと感じた。

以上

福生市防災食育センター

避難所・防災拠点・備蓄・応急給食・学校給食・食育学習機能を
併せ持つ、総合的な「災害時対応施設」が誕生



福生市長 加藤 育男

ごあいさつ

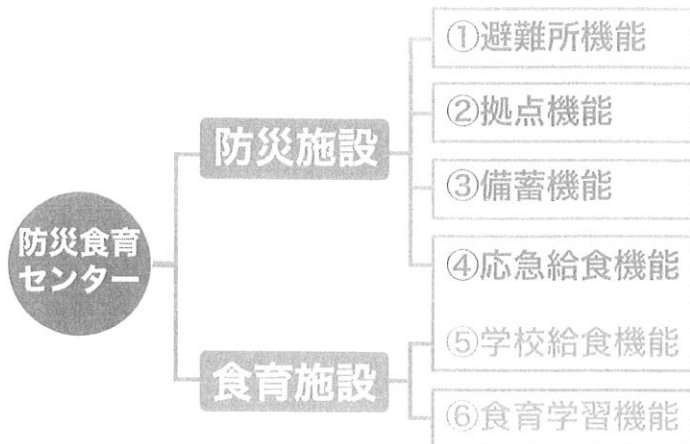
福生市では東日本大震災を契機に、市民の防災意識の高まりを受け、防災食育センターの整備に取り組み、平成29年9月から本格稼働を開始いたしました。

防災食育センターは、平常時には、市内小中学校に学校給食を提供する一方、災害時には帰宅困難者などの一時滞在者や避難生活者を受け入れる避難所として機能するほか、想定避難生活者1万5,000人に1日1回、おにぎり2個と汁物を応急給食として提供することができます。更に、避難所開設用の備品を備蓄し、支援物資や応援部隊を受け入れる災害対策の拠点としても機能します。

私は、総合的な防災機能を備えた本施設の稼働により、市の防災力が大いに高まることを確信するとともに、今後も引き続き、「このまちが好き 夢かなうまち 福生」の実現に取り組んでまいります。

防災食育センターは、災害時に市民を守るための各種防災機能を備えた施設です

主な施設機能 [防災施設]



- ①避難所機能**
- ・避難所として約310名を受け入れます
 - ・防災広場に救護用テントや簡易トイレを設置します
 - ・帰宅困難者の一時滞在場所になります
- ②拠点機能**
- ・支援物資や応援部隊を受け入れます
- ③備蓄機能**
- ・避難所開設用の毛布等防災用備品を備蓄します
- ④応急給食機能**
- ・応急給食用の米 4,500 kgと汁物用の乾燥具材 45,000 食分を備蓄します

耐震安全性の目標

防災食育センターは、最も高い耐震安全性を目標としています。災害発生後の機能を確保するため、構造体の分類は「Ⅰ類（重要度係数I=1.5）」、建築非構造部材は「A類」、建築設備は「甲類」を採用しています。

部 位	分類	耐 震 安 全 性 の 目 標
構 造 体	Ⅰ類	大地震動後、構造体の補修をすることなく建築物を使用できることを目標とし、人命の安全確保に加えて十分な機能確保が図られている。
	Ⅱ類	大地震動後、構造体の大きな補修をすることなく建築物を使用できることを目標とし、人命の安全確保に加えて機能確保が図られている。
	Ⅲ類	大地震動により構造体の部分的な損傷は生じるが、建築物全体の耐力の低下は著しくないことを目標とし、人命の安全確保が図られている。
建 築 非構造部材	A類	大地震動後、災害応急対策活動や被災者の受け入れの円滑な実施、又は危険物の管理のうえで、支障となる建築非構造部材の損傷、移動等が発生しないことを目標とし、人命の安全確保に加えて十分な機能確保が図られている。
	B類	大地震動により建築非構造部材の損傷、移動等が発生する場合でも、人命の安全確保と二次災害の防止が図られている。
建 築 設 備	甲類	大地震動後の人命の安全確保及び二次災害の防止が図られていると共に、大きな補修をすることなく、必要な設備機能を相当期間継続できる。
	乙類	大地震動後の人命の安全確保及び二次災害の防止が図られている。

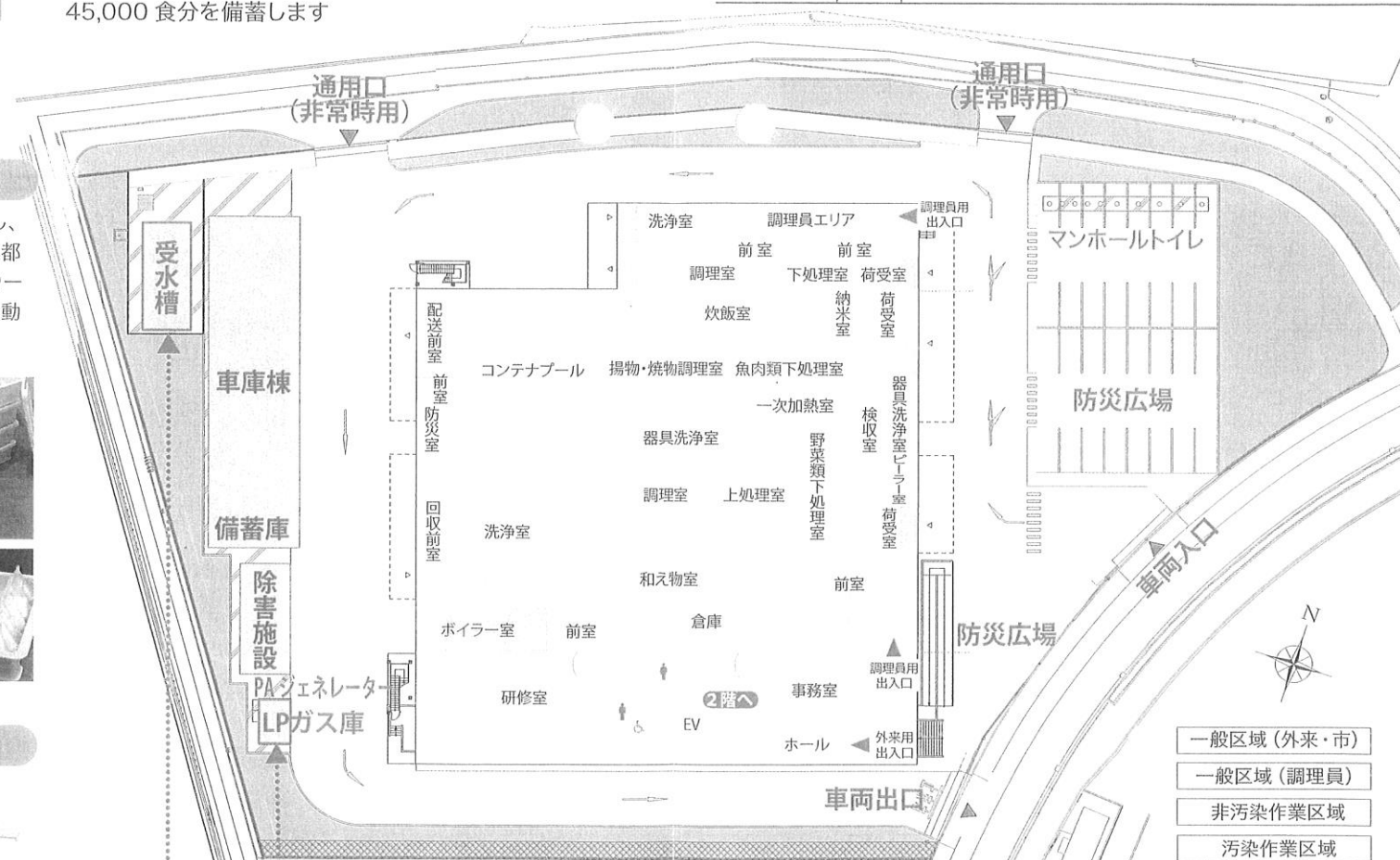
防災施設の特長

応急給食機能 [炊き出しの想定]

災害発生後4日目を降最低3日間、市内の避難生活者約1万5千人に対し、一人1日1回おにぎり2個と温かい汁物を提供。災害時の調理機として、都市ガス・プロパンガス両対応の炊飯システムや屋外で使用できるコンロカート等を配備しています。また、最も労力がかかるおにぎりの成形には、自動成形機を導入。1時間に最大1,800個作ることができます。

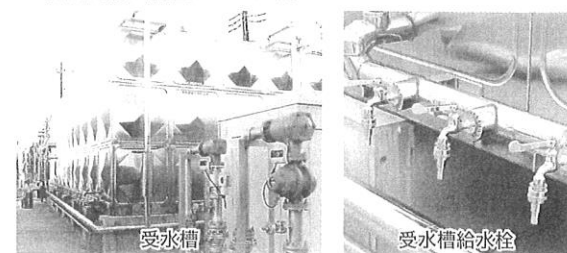


応急給食対応調理機



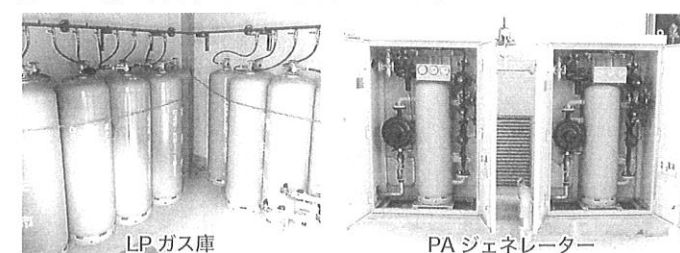
● 応急給水設備 [断水時の想定]

受水槽は災害時の施設利用形態を想定し、容量は100tタンクを設置しています。また、本体には漏水と汚泥侵入に対処するための緊急遮断弁や、残留塩素を保持するための自動塩素滅菌機も設置しています。

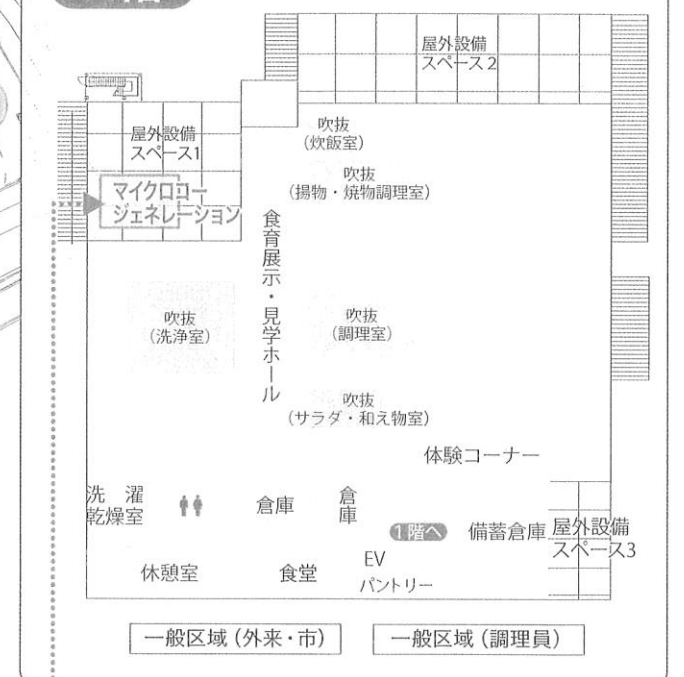


● プロパンガス備蓄 [都市ガスが利用できない場合の想定]

都市ガスが遮断されてしまった場合でも、備蓄しているプロパンガスを都市ガスに近い性質のガスに変換して供給できるPAジェネレーターを設置しています。プロパンガスボンベは、万が一の災害時にすぐ使用できる様に、倉庫で安全に備蓄しています。



2階



● 非常用発電機 [停電時の想定]

都市ガスで発電するマイクロコージェネレーションは、災害で都市ガス供給がストップした場合でも、プロパンガスからPAジェネレーターで変換されたガスを使用することで発電可能。平常時もデマンドピークを抑えるために発電しています。



避難所機能



災害時【イメージ図】

避難所機能 (帰宅困難者の受け入れ想定)

避難所として約310名を受け入れます。災害時には、1階研修室と2階の食育展示ホールが避難所となり、2階備蓄庫並びに、1階車庫棟の倉庫にエアーマットや毛布、プライバシーテント等を備蓄しています。



1階 避難所【研修室】



2階 避難所【食育展示ホール】



備蓄毛布・エアーマット

簡易ベッド



プライバシーテント



テント付きマングホールトイレ



鉄火鉢

拠点機能



救護用エアertent



バルーン投光機



タープテント

救助工具セット



防雨型コードリール

発電機

備蓄機能



屋外備蓄倉庫



2階備蓄倉庫

施設概要

- 敷地面積: 9,807.58㎡ → 国有地無償提供
- 建築面積: 3,847.82㎡
- 延べ面積: 4,844.84㎡
- 規模構造: 鉄骨造・RC造 地上2階 耐火建築物
- 調理能力: 4,000食 (最大4,500食)
- 配送先: 小学校7校・中学校3校

●全事業費: 約39億7,000万円

【全事業費の内訳】

- 施設整備費: 約31億2,400万円
- 備品購入費: 約4億6,100万円
- 小中学校給食関連設備整備費等: 約3億8,500万円

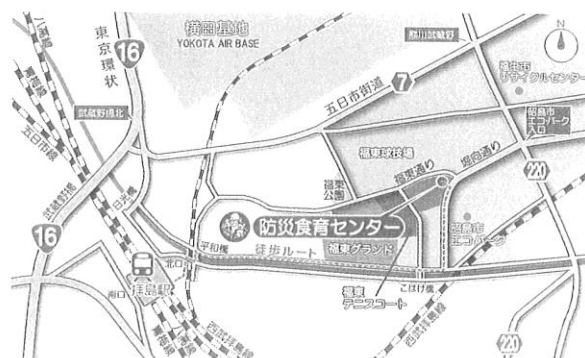
※この事業は防衛省からの補助金・交付金を活用して実施しています。

※市営給食センター

福生市防災食育センター

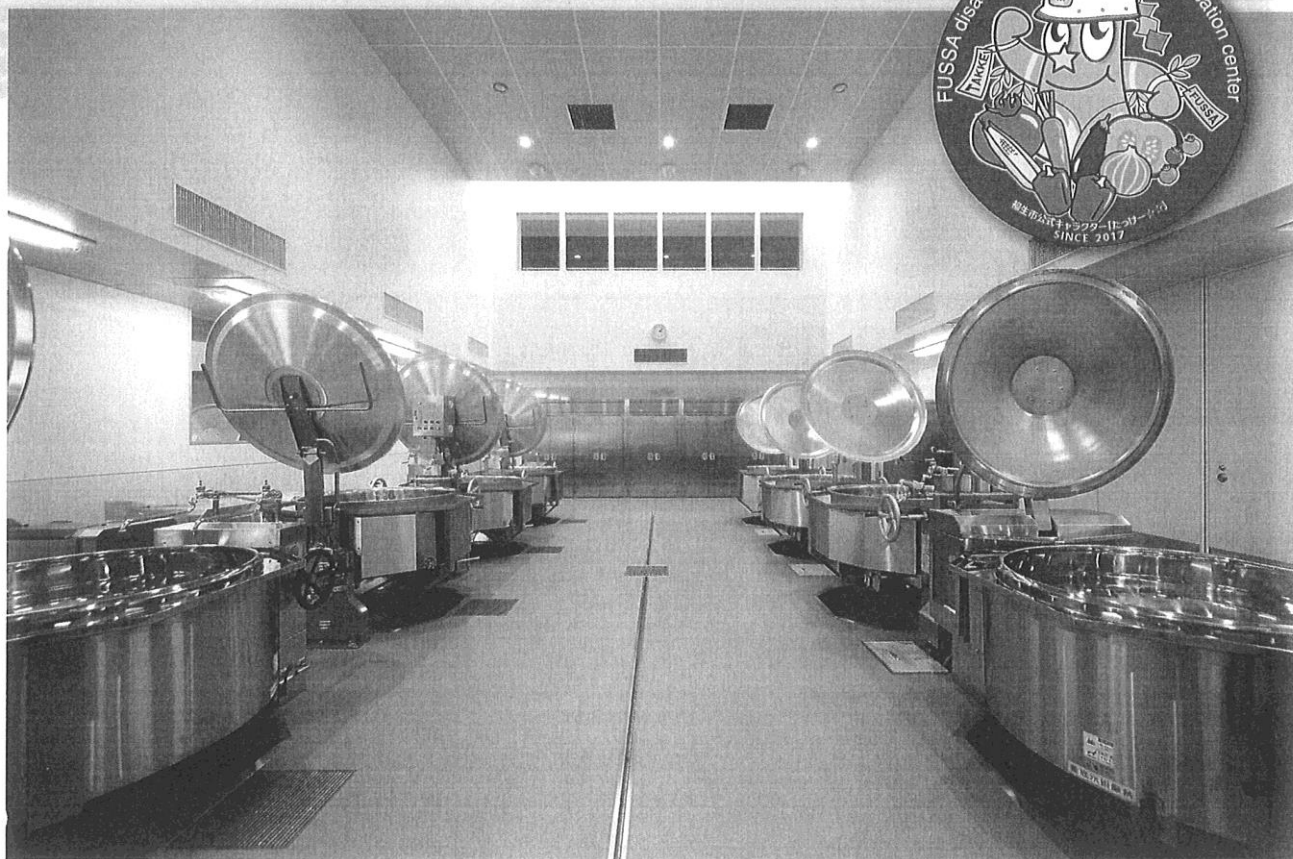
福生市教育委員会 教育部 学校給食課

所在地: 〒197-0003 東京都福生市熊川1606番地1
TEL: 042-551-1344



福生市防災食育センター

避難所・防災拠点・備蓄・応急給食・学校給食・食育学習機能を
併せ持つ、総合的な「災害時対応施設」が誕生



福生市長 加藤 育男

ごあいさつ

福生市では東日本大震災を契機に、市民の防災意識の高まりを受け、防災食育センターの整備に取り組み、平成29年9月から本格稼働を開始いたしました。

防災食育センターは、災害時には、総合的な防災施設として機能する一方、平常時には、小学校に加え中学校への完全給食の提供や食物アレルギー対応給食の提供を新たに開始し、生野菜の提供も可能な調理機能や2階から給食の調理現場を見学できる食育展示見学ホールなど、食育の視点を併せ持つ施設となっております。

私は、最新の衛生管理手法に基づく本施設の稼働により、「安全で安心な学校給食」及び「食育の推進」が具現化するものと確信するとともに、今後も引き続き、「このまちが好き 夢かなうまち福生」の実現に取り組んでまいります。

防災食育センター

- 防災施設
 - ①避難所機能
 - ②拠点機能
 - ③備蓄機能
 - ④応急給食機能
 - ⑤学校給食機能
 - ⑥食育学習機能
- 食育施設

-

福生市防災食育センターは、平常時に子どもたちの食育の場として幅広く活用できます。

2階 食育展示ホール



食育展示ホール



食育体験コーナー

エアシャワー



防災展示



見学窓



回転釜モデル



手洗いチェッカー

手洗消毒器

1階 研修室



研修室



プロジェクター



バイキング給食体験

災害時は避難場所として利用しますが、平常時の2階食育展示ホールは、防災学習や展示パネル、調理場見学など、日常から防災に対する備えの大切さや、給食を通して健全な食生活の在り方を学べるコーナーとして利用できます。また、1階研修室は、試食会やバイキング給食などでも利用できます。

施設概要

- ◎敷地面積：9,807.58㎡
- ◎建築面積：3,847.82㎡
- ◎延べ面積：4,844.84㎡
- ◎規模構造：鉄骨造・RC造 地上2階 耐火建築物
- ◎調理能力：4,000食（最大4,500食）
- ◎配送先：小学校7校・中学校3校

- ◎全事業費：約39億7,000万円

【全事業費の内訳】

- 施設整備費：約31億2,400万円
- 備品購入費：約4億6,100万円
- 小中学校給食関連設備整備費等：約3億8,500万円

※この事業は防衛省からの補助金・交付金を活用して実施しています。

福生市防災食育センター

福生市教育委員会 教育部 学校給食課

所在地：〒197-0003 東京都福生市熊川1606番地1
TEL：042-551-1344



東京臨海広域防災公園

The Tokyo Rinkai Disaster Prevention Park

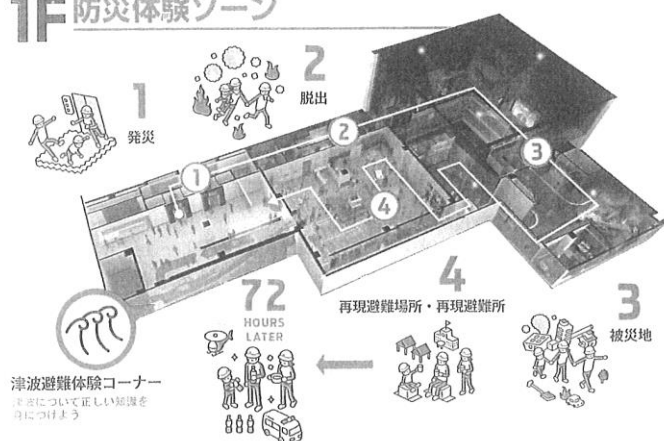


入場無料

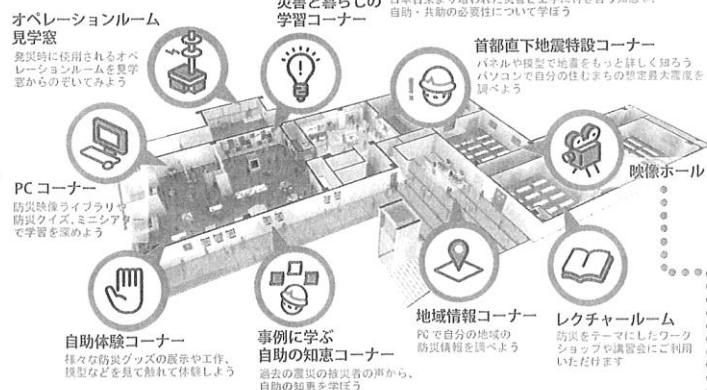
そなエリア東京

防災体験学習施設

1F 防災体験ゾーン



2F 防災学習ゾーン



東京直下72h 地震発生後72時間の生存力をつける、体験学習ツアー

タブレット端末を使って「防災クイズ」に挑戦、「AR体験」で危険箇所を確認
音響・照明・映像により余震が繰り返されるジオラマの中を、タブレット端末を使ったクイズ
で注意事項を確認しながら避難場所へ移動します。街の映画館では首都直下地震の再現CG映
像を上映しています。

防災学習ゾーンでは、首都直下地震をわかりやすく紹介する首都直下地震特設コーナー、
PCコーナー、自助体験コーナーなど様々な学習プログラムをご利用いただけます。

映像ホール

メッセ・映像空間
大型プロジェクターによる映像ホール。
2009年にデジタルシネマにて放送されたア
ニメ「東京マグニチュード8.0」を、この施
設用に再構成した「東京マグニチュード8.0
～東京直下72h～」を上映いたします。

東京マグニチュード8.0

東京直下72h TOUR



tokyo-m8.com

☆ 防災体験学習施設『そなエリア東京』

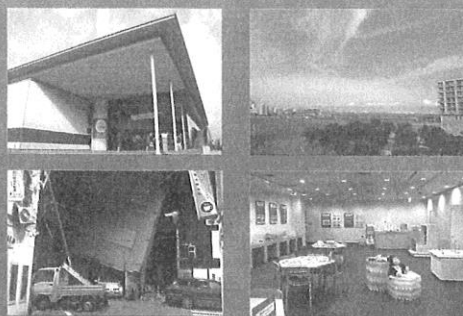
そなえる+エリアの造語。「ここでの体験と学習を通じて、「災害をイメージする力」と「対応力」を身につけることで、災害への備えにつながる場所」を意味しています。



そなエリア東京

防災体験学習施設

東京直下
72h
TOUR



もしここで大地震がおきたら…

国や自治体などの支援体制が十分に整うまでは、自力で生き残らなければなりません。その目安は3日間、72時間といわれています。

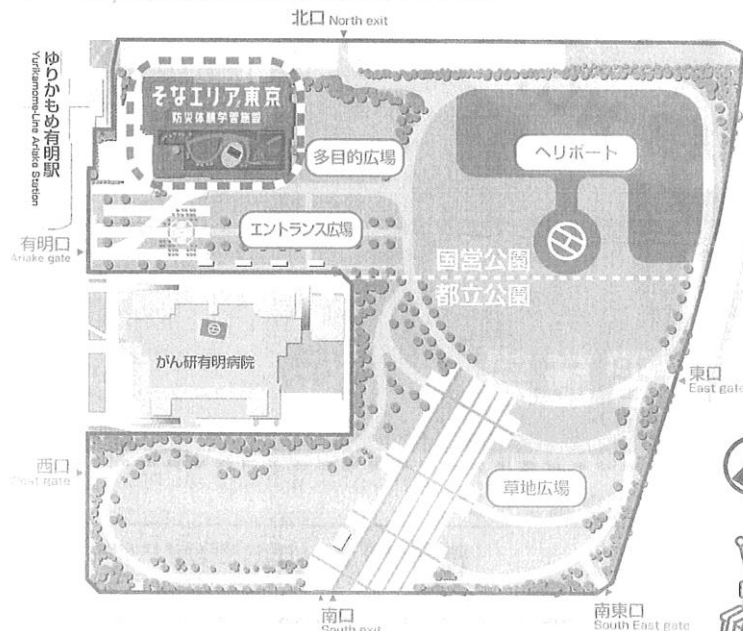
72時間、どう生き残るか？

「東京直下72h TOUR」は、マグニチュード7.3、最大震度7の首都直下地震の発災から避難までを体験し、タブレット端末を使ったクイズに答えながら生き抜く知恵を学ぶ防災体験学習ツアーです。

「東京直下72h TOUR」に参加してスタンプを押そう！

東京臨海広域防災公園

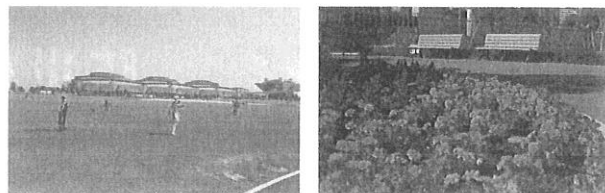
Tokyo Rinkai Disaster Prevention Park



東京臨海広域防災公園は、首都圏で大規模な地震災害等が発生したとき、国や地方公共団体等の緊急災害現地対策本部が設置され、公園全体が広域的な指令機能を受け持つ場所となります。

※大規模災害が起きたときには上記のような機能となるため、避難場所としてはご利用になれません。

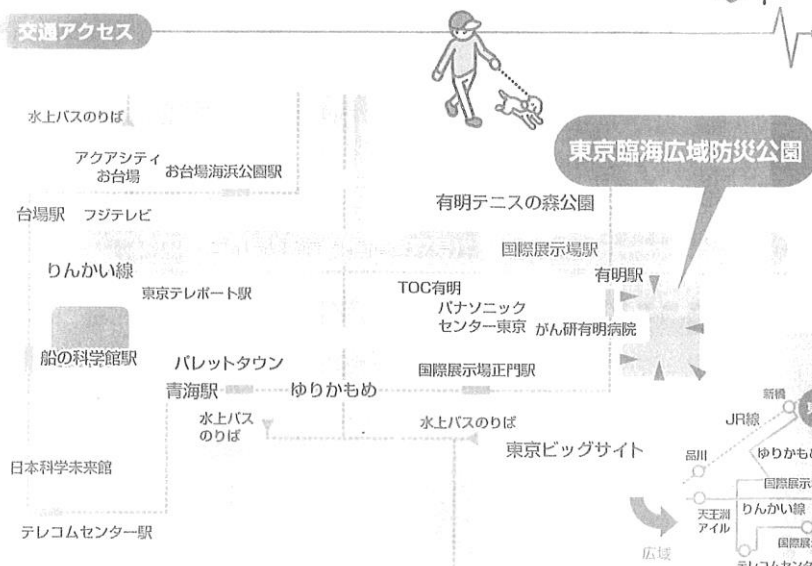
平常時には、花と緑があふれる国営公園 (6.7ha) と都立公園 (6.5ha) が融合した広大なスペースで、軽い運動やピクニックを楽しむなど、休憩・休息の場として広くお客様に使って頂ける公園です。公園外周には緑陰となる樹木や花木が植えられており、海風に当たりながら、季節感を感じることのできる、心地よい空間です。広大な芝生広場や舗装された広場では、防災訓練や様々なイベントが実施され、防災を身近に感じながら楽しく学ぶことができます。



フェイスブックも随時更新中！

www.facebook.com/sonaarea

交通アクセス



ご利用案内

【東京臨海広域防災公園】

- 開園時間 午前6時～午後8時 (12/31～1/1 休園)
- 入園料 無料

【そなエリア東京】～防災体験学習施設～

- 利用時間 午前9時30分～午後5時 (入場は午後4時30分まで)
- 休館日 月曜日 (月曜日が祝日の場合は開館し、翌日休館) ※年末年始及び臨時休館日があります
- 入場料 無料

【ご利用に関するお問合せ】

東京臨海広域防災公園 管理センター
〒135-0063 東京都江東区有明3丁目8番35号
TEL: 03-3529-2180 FAX: 03-3529-2188
(運営管理: 西武造園・NHKアート共同体)

最寄駅

りんかい線 → 「国際展示場駅」より徒歩約4分
ゆりかもめ → 「有明駅」より徒歩約2分
※当施設に駐車場はございません